

平成26年度介護予防事業の概要報告

1 二次予防事業の対象者把握事業

(1) 事業内容

本事業は、二次予防事業である通所型介護予防事業及び訪問型介護予防事業の対象者を抽出するために取り組んでおります。

- ① 対象者：65歳以上の要介護等認定を受けていない方
- ② 内容：基本チェックリストによる生活機能評価（必須25項目＋独自22項目）
- ③ 目的：生活機能低下により介護予防が必要とされる、要支援認定者の手前の二次予防事業（通所型介護予防事業、訪問型介護予防事業）の対象者を把握
- ④ 未返送者への対応：督促通知を送付し、提出の促進を図っています。
- ⑤ 結果通知：結果アドバイス表として、結果を送付いたします。
- ⑥ 一次予防事業（介護予防普及啓発事業、認知症予防事業）への参加の案内：結果通知とともに同封いたします。
- ⑦ 二次予防事業対象者への勧奨：通所型介護予防事業への参加を促すために、9月、12月、3月、6月の時期に4回の勧奨を行います。
- ⑧ 医師への生活機能評価受診：通所型介護予防事業への参加申込みをされた方の中から必要に応じて受診していただいております。

(2) 事業の実施状況

①事業実施スケジュール

- ア 基本チェックリスト発送日 ……平成26年6月25日
- イ 未返送者への督促通知日……平成26年8月8日
- ウ 基本チェックリスト結果アドバイス表発送日 ……平成26年8月12日
平成26年9月22日
- エ 上記ウに介護予防普及啓発事業及び認知症予防事業の案内と介護予防体操のカレンダーを同封
- オ 10月から、通所型介護予防事業の参加勧奨用データとして活用します。

②二次予防事業対象者把握状況表

		平成26年度	平成25年度
基本チェックリスト対象者数	A	32,969人	32,239人
基本チェックリスト返送者数	B	27,963人	27,832人
基本チェックリスト返送率	B/A	84.8%	86.3%
基本チェックリスト未返送者数	$C = A - B$	5,006人	4,407人
基本チェックリスト判定不能者数	D	1,310人	1,004人
基本チェックリスト判定不能者発生率	D/B	4.7%	3.6%
基本チェックリスト結果通知送付者数	$B - D$	26,653人	26,828人
二次予防事業対象者	E	5,993人	6,276人
二次予防事業対象者発生率	E/B	21.4%	22.5%
一次予防事業対象者数	F	20,660人	20,552人
一次予防事業対象者数発生率	F/B	73.9%	73.8%
基本チェックリスト未返送者への再送付通知		7,943通	7,162通
生活機能評価受診者数		320人	298人

※基本チェックリスト判定不能者数は、必須25項目の内、20項目以上空欄の方

2 通所型介護予防事業（二次予防事業）

（1）事業内容

二次予防事業対象者に、寝たきりや要介護状態になることや、症状が悪化することを防ぐために、通所型介護予防事業（介護予防教室）を開催します。

高齢者自身の日常生活動作の能力を高め、本人の介護予防の実践に結びつけていくため、運動機能の向上や栄養改善、口腔機能の向上について、本事業の幅広い展開を図ります。現在、送迎付きの教室は、2ヶ所を拠点（小川東町、花小金井）として実施し、さらに、巡回型として拠点以外の場所での実施を行っています。また、随時、二次予防事業対象者へ参加勧奨を行っています。

（2）事業の実施状況

①介護予防教室＝各区分を開始月4回（4月・7月・10月・1月）により実施

4月～3月実績

区 分	1コース当たりの回数 (3か月間)	コース数	延開催回数	参加人数	延参加人数
運動機能向上コース	12回	40コース	480回	380人	4,106人
運動機能向上コース<<継続者対象>>	6回	16コース	96回	123人	661人
介護予防総合コース	12回	16コース	192回	109人	1,059人
腰痛・ひざ痛予防教室	8回	8コース	64回	71人	509人
口腔機能向上コース	6回	4コース	24回	45人	218人
合 計		84コース	856回	728人	6,553人

※ 腰痛・ひざ痛予防教室は、巡回型として実施しています。

【巡回型実施場所】

4月～6月	①東部市民センター	②小川東町拠点
7月～9月	①小川町1丁目地域センター	②上水新町地域センター
10月～12月	①御幸地域センター	②鈴木地域センター
1月～3月	①福社会館	②福社会館

3 訪問型介護予防事業（二次予防事業）

（1）事業内容

心身の状況により通所型介護予防事業への参加が困難な二次予防事業の対象者に、看護師等がその居宅等を訪問し、必要な相談・指導を実施します。

今後は、多くの利用を促すため、訪問・電話等により積極的に対象者への働きかけを行います。（月2回を限度に訪問）

（2）事業の実施状況

訪問実人数	訪問延回数
2人	11回

4 介護予防普及啓発事業（一次予防事業）

（1）事業内容

全ての65歳以上の高齢者の内、会場にご自身で来られる方を対象に、生活機能の維持や向上を目的とする介護予防講座等や、介護予防の情報を提供し、自立した日常生活が送れるよう支援を行います。講座等は、二次予防事業対象者把握事業の結果通知での参加勧奨、市報等での参加募集を行っています。

（2）事業の実施状況

①介護予防講座

区分	とき	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
講演会	10月21日	福祉会館	1回	45人	笑いヨガでたのしく介護予防
講座	9月16日 9月30日	小川西町公民館	2回	19人	始めよう！ お口と脳と体を鍛えて介護予防
	9月11日 9月18日	福祉会館	2回	40人	
	9月19日 10月3日	東部市民センター	2回	53人	
運動講座	5月2日	福祉会館	1回	16人	「脳・足腰をきたえて介護予防」
	5月7日	小川西町公民館	1回	7人	
	5月12日	東部市民センター	1回	20人	
	6月18日	小川西町公民館	1回	8人	
	6月20日	福祉会館	1回	10人	
	6月23日	東部市民センター	1回	13人	
	11月28日	福祉会館	1回	8人	
	12月3日	小川西町公民館	1回	7人	
	12月8日	東部市民センター	1回	13人	
	1月30日	福祉会館	1回	5人	
	2月2日	東部市民センター	1回	20人	
	2月4日	小川西町公民館	1回	16人	
	健康フェスティバル 11月10日	健康センター	1回	102人	脳トレ体操、脳年齢測定
		合計	20回	402人	

②介護予防講座（二次予防事業修了者用） 4～3月

担当包括	と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
小平健成苑	4月22日	小平健成苑	1回	15人	体操を通しての介護予防
	5月27日	小平健成苑	1回	12人	
	6月24日	小平健成苑	1回	12人	
	7月22日	東部市民センター	1回	16人	
	8月26日	小平健成苑	1回	13人	
	9月24日	小平健成苑	1回	16人	
	10月28日	小平健成苑	1回	14人	
	11月25日	東部市民センター	1回	14人	
	12月24日	小平健成苑	1回	13人	
	1月27日	東部市民センター	1回	18人	
	2月24日	小平健成苑	1回	14人	
	3月24日	東部市民センター	1回	15人	
多摩済生ケアセンター	4月10日	大沼公民館	1回	18人	自宅でできる介護予防体操
	5月8日	大沼公民館	1回	18人	
	6月12日	大沼公民館	1回	18人	
	7月10日	大沼公民館	1回	16人	
	8月14日	大沼公民館	1回	17人	
	9月11日	大沼公民館	1回	17人	
	10月9日	大沼公民館	1回	16人	
	11月13日	大沼公民館	1回	16人	
	12月11日	大沼公民館	1回	15人	
	1月8日	大沼公民館	1回	11人	
	2月12日	大沼公民館	1回	12人	
	3月12日	大沼公民館	1回	16人	
中央センター	4月15日	福祉会館	1回	7人	ころばん運動教室
	5月20日	福祉会館	1回	8人	
	6月17日	福祉会館	1回	7人	
	7月15日	福祉会館	1回	7人	
	8月19日	福祉会館	1回	3人	
	9月20日	福祉会館	1回	6人	
	10月14日	福祉会館	1回	5人	
	11月18日	福祉会館	1回	4人	
	12月16日	福祉会館	1回	3人	
	1月20日	福祉会館	1回	7人	
	2月17日	福祉会館	1回	8人	
	3月17日	福祉会館	1回	15人	

小川ホーム	4月7日	小川西町中宿地域センター	1回	15人	元気はつらつ小川の会体操教室
	4月21日	学園西町地域センター	1回	17人	
	5月5日	小川西町中宿地域センター	1回	11人	
	5月19日	学園西町地域センター	1回	11人	
	6月7日	小川西町中宿地域センター	1回	15人	
	6月23日	学園西町地域センター	1回	14人	
	7月7日	小川西町中宿地域センター	1回	13人	
	7月21日	学園西町地域センター	1回	12人	
	8月4日	小川西町中宿地域センター	1回	10人	
	8月28日	学園西町地域センター	1回	13人	
	9月1日	小川西町中宿地域センター	1回	13人	
	9月15日	学園西町地域センター	1回	16人	
	10月6日	小川西町中宿地域センター	1回	中止	
	10月20日	学園西町地域センター	1回	15人	
	11月3日	小川西町中宿地域センター	1回	13人	
	11月17日	学園西町地域センター	1回	15人	
	12月1日	小川西町中宿地域センター	1回	12人	
	12月15日	学園西町地域センター	1回	16人	
	1月5日	小川西町中宿地域センター	1回	11人	
	1月19日	学園西町地域センター	1回	11人	
	2月2日	小川西町中宿地域センター	1回	17人	
	2月16日	学園西町地域センター	1回	14人	
	3月2日	小川西町中宿地域センター	1回	15人	
	3月16日	学園西町地域センター	1回	9人	
けやきの郷	4月24日	けやきの郷	1回	23人	寝たきりにならないための運動習慣
	5月22日	けやきの郷	1回	20人	
	6月26日	けやきの郷	1回	18人	
	7月24日	けやきの郷	1回	20人	
	8月28日	けやきの郷	1回	20人	
	9月25日	けやきの郷	1回	11人	
	10月23日	けやきの郷	1回	10人	
	11月27日	けやきの郷	1回	13人	
	12月25日	けやきの郷	1回	11人	
	1月22日	けやきの郷	1回	11人	
	2月26日	けやきの郷	1回	10人	
	3月26日	けやきの郷	1回	10人	
			合 計	72回	

※4包括×12回＝48回 1包括×24回＝24回 合計72回

5 認知症予防事業（一次予防事業）

（1）事業内容

65歳以上で要介護・要支援認定を受けておらず、認知症の診断を受けていない方を対象に、認知症予防の普及啓発に資する様々な内容を取り入れた教室・講座・講演会を開催し、利用者が認知症予防を実践できることを目指します。

（2）事業の実施状況

①認知症予防教室＝ウォーキング編

入門編：2コース2回（4月・9月）

実践編：2コース24回（4月～7月・10月～12月）

フォローアップ編：2コース6回（8月～10月・1月～3月）

ウォーキングイベント：3回（7月・11月・3月）

◎入門編

と き	実施場所	開催回数	参加人数
4月30日	中央公民館	1回	45人
9月18日	東部市民センター	1回	46人
合 計		2回	91人

◎実践編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
5月14、21、28日、 6月4、11、18、25 日、7月2、9、16、 23、30日	健康福祉事務センター	12回	17人	168人
10月2、9、16、23、 30日、11月6、13、 20、27日、12月4、 11、18日	東部市民センター	12回	22人	213人
合 計		24回	39人	381人

◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
8月27日、9月24 日、10月29日	健康福祉事務センター	3回	15人	38人
1月22日、2月19 日、3月19日	東部市民センター	3回	20人	48人
合 計		6回	35人	86人

◎イベント

と き	実施場所	開催回数	参加人数
7月2日	美園地域センター	1回	29人
11月20日	小川西公民館	1回	31人
3月25日	健康福祉事務センター	1回	23人
	合 計	3回	83人

②認知症予防講座＝4コース32回（4月～・6月～・9月～・1月～）

テーマ：「目・脳・体いきいき教室」

と き	実施場所	開催回数	参加人数	延参加人数
4月15, 22日 5月13, 20, 27日 6月3, 10, 17日	東部市民センター	8回	28人	164人
6月10, 17, 24日 7月1, 8, 15, 22, 29日	福祉会館	8回	28人	193人
9月8, 22, 29日 10月6, 20, 27日 11月10, 17日	美園地域センター	8回	27人	177人
1月6, 13, 20, 27日 2月3, 10, 17, 24日	小川西公民館	8回	26人	187人
	合 計	32回	109人	721人

◎フォローアップ編

と き	実施場所	開催回数	参加人数
7月15日	東部市民センター	1回	13人
8月26日	福祉会館	1回	19人
12月22日	美園地域センター	1回	20人
3月24日	小川西公民館	1回	13人
	合 計	4回	65人

③認知症予防講演会＝2回

と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ
6月26日	ルネこだいら	1回	54人	今日から始める認知症予防
11月15日	中央公民館	1回	30人	認知症～早期の気づきと接し方～
	合 計	2回	84人	

④認知症サポーター養成講座

と き	団体名	開催回数	参加人数
5月16日	ママさん体操	1回	30人
6月11日	タイムリー講座受講者	1回	22人
6月18日	小平生活ネットワーク	1回	14人
6月27日	介護認定調査員	1回	23人
7月24日	右脳いきいきクラブ	1回	22人
8月5日	右脳いきいきクラブ	1回	19人
9月3日	市報周知小平市民	1回	16人
9月11日	見守りボランティア	1回	80人
9月17日	公明党小平第1支部	1回	28人
10月3日	市報周知小平市民	1回	10人
10月18日	小平市民	1回	8人
10月20日	学園東小（4年生）	1回	66人
11月8日	白梅大学生	1回	64人
11月11日	りそな銀行小平支店	1回	16人
11月18日	りそな銀行花小金井支店	1回	17人
12月4日	小平市シルバー人材センター	1回	21人
12月5日	小平市役所職員	1回	13人
12月17日	さくら薬局	1回	13人
2月1日	新日本婦人の会	1回	80人
2月5日	白梅学園大学生	1回	45人
2月10日	見守りボランティア	1回	52人
2月14日	小平市民	1回	18人
2月20日	小平市民	1回	10人
3月12日	小平市民	1回	25人
3月22日	小平団地のみらいを考える会	1回	19人
		25回	731人

◎平成26年度までの実績

年度	開催回数	参加人数
平成18年度	3回	79人
平成19年度	7回	214人
平成20年度	14回	336人
平成21年度	12回	278人
平成22年度	22回	410人
平成23年度	21回	359人
平成24年度	25回	506人
平成25年度	25回	451人
平成26年度	25回	731人
	154回	3,364人

6 介護予防見守りボランティア事業

(1) 事業内容

見守りボランティア登録をされた高齢者が、地域包括支援センターと連携しながら、地域のさりげない見守り活動を行い、この活動を通して、地域の見守り体制を強化するとともに、ボランティアとして活動する高齢者の介護予防を推進します。

この事業は、平成23年9月から西圏域でモデル事業として開始し、平成25年度からは、市内の全圏域で実施しています。

見守りボランティアの方々には、地域を知ってもらい、日常の外出からさりげない見守りを行い、異変に気づいた場合には、地域包括支援センターに通報することとしています。

見守りボランティアの登録前には、事前研修を行い、登録後には、交流会や、フォローアップ研修を行っています。

(2) 事業の実施状況

①登録事前研修

○第1回 9月開催

★内容

1日目	地域の中で行う見守り方法について 講師：森山千賀子氏 (白梅学園大学准教授)	2日目	①認知症サポーター養成講座 ②高齢期のからだの変化
-----	--	-----	------------------------------

★日程等

	と き	実施場所	開催回数	参加人数	男性	女性
1日目	9月10日	福社会館	1回	81人	37人	43人
2日目	9月11日	福社会館	1回	76人	36人	40人
		合 計	2回	156人	73人	83人

○第2回 2月開催

★内容

1日目	地域の中で行う見守り方法について 講師：森山千賀子氏 (白梅学園大学准教授)	2日目	①認知症サポーター養成講座 ②高齢期のからだの変化
-----	--	-----	------------------------------

★日程等

	と き	実施場所	開催回数	参加人数	男性	女性
1日目	2月6日	福社会館	1回	55人	18人	37人
2日目	2月10日	福社会館	1回	52人	18人	34人
		合 計	2回	107人	36人	71人

②見守りボランティア登録者数 (平成 27 年 3 月 31 日 現在)

203名 < 男性 = 87名 > < 女性 = 116名 >

※ 内、協力員登録 (65歳未満の方) = 男性 4名 女性 27名

【内訳】

圏域	登録者			協力員			合計		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
西	27名	26名	53名	0名	6名	6名	27名	32名	59名
中央西	18名	22名	40名	1名	6名	7名	19名	28名	47名
中央	5名	2名	7名	0名	2名	2名	5名	4名	9名
中央東	15名	16名	31名	2名	5名	7名	17名	21名	38名
東	18名	23名	41名	1名	8名	9名	19名	31名	50名
合計	83名	89名	172名	4名	27名	31名	87名	116名	203名

③見守りボランティアからの通報 (平成 27 年 3 月 31 日 現在)

通報件数 = 6件

圏域	件数	主な内容
西	0件	
中央西	1件	①近隣の認知症進行が顕著な高齢者について
中央	4件	①要介護4の妻と同居している夫の介護疲れについて ②マンション内で問題行動がある方への対応について ③包括で関わりのある方が救急搬送されたことについて ④近隣の高齢者を数日見かけないことに対する安否確認について
中央東	1件	①近所の道端で自転車ごと倒れていた高齢者について
東	0件	
合計	6件	

④交流会

ア 西圏域 (けやきの郷)

と き	実施場所	開催回数	参加人数	テーマ・内容等
5月15日	けやきの郷 家族介護教室	1回	12人	認知症の理解と寄り添うための基礎知識・事例の寸劇を行い、対応等に関するグループワークを実施した。
7月15日	やすらぎの園 黎明ホール	1回	15人	高齢者あんしん見守りネットワーク 諏訪町ゆっつについての講演
9月16日	けやきの郷 家族介護教室	1回	23人	認知症行方不明者と振り込め詐欺の 被害についての講演
11月18日	やすらぎの園 黎明ホール	1回	22人	地域の中での暮らしや医療についての 講演 (福祉のまちづくり講演会と合同 開催)
1月20日	けやきの郷 家族介護教室	1回	19人	「ネットワークを考える」をテーマ にグループワークを実施した。
3月17日	けやきの郷 家族介護教室	1回	35人	フォローアップを兼ねて、1年間の振 返りと来年度の交流会に向けて意見交 換

イ 中央西圏域（小川ホーム）

5月14日	小川ホーム	1回	13人	自己紹介と地域の見守り活動についての情報交換
7月18日	小川ホーム	1回	11人	コミュニティサロン「ほっとスペースさつき」の紹介とボランティア活動についての講座、意見交換
10月3日	小川ホーム	1回	19人	小川西町地域のまち歩きについて
11月19日	小川ホーム	1回	18人	府中市における見守り等の取組みについての講演
1月23日	小川ホーム	1回	15人	孤独死のDVD鑑賞と意見交換
3月20日	小川ホーム	1回	21人	フォローアップを兼ねて、1年間の振り返りと来年度の交流会に向けて意見交換

ウ 中央圏域（中央センター）

5月27日	健康福祉事務センター	1回	4人	見守りサポーター養成研修の振り返りと地図を使って地域を考える
7月29日	健康福祉事務センター	1回	4人	地図の書き込み、互いの活動についての情報交換
9月25日	小川東町地域センター	1回	4人	自己紹介と見守りボランティアになってみて
11月25日	健康福祉事務センター	1回	5人	学園東町1丁目周辺のまち歩き
1月19日	健康福祉事務センター	1回	7人	まち歩きの振り返りを行い、地域でできることを考える
3月24日	健康福祉事務センター	1回	7人	フォローアップを兼ねて、1年間の振り返りと来年度の交流会に向けて意見交換

エ 中央東圏域（多摩済生ケアセンター）

5月15日	多摩済生ケアセンター	1回	6人	まち歩きについてと今後の予定について
7月10日	多摩済生ケアセンター	1回	5人	小平西圏域での見守りボランティア活動交流会についてと今後の交流会内容について
9月18日	多摩済生ケアセンター	1回	8人	孤独死に関するDVD鑑賞とグループワーク
11月6日	多摩済生ケアセンター	1回	17人	美園町3丁目周辺のまち歩きとグループワーク
1月15日	美園町地域センター	1回	14人	高齢者あんしん見守りネットワーク諏訪町ゆっつについての講演
3月12日	多摩済生ケアセンター	1回	15人	フォローアップを兼ねて、1年間の振り返りと来年度の交流会に向けて意見交換

オ 東圏域（小平健成苑）

5月16日	花小金井南公民館	1回	15人	地域を歩こう～花小金井南町3丁目自治会地区のフィールドワーク
7月11日	東部市民センター	1回	12人	民生委員との交流、活動を知る
9月26日	小平健成苑	1回	14人	自己紹介と見守りボランティアになってみて
11月14日	小平健成苑	1回	18人	孤独死と地域活動について考えるとして孤独死に関するDVD鑑賞とグループワーク
1月9日	小平健成苑	1回	15人	この1年間の活動について
3月16日	小平健成苑	1回	25人	高齢者あんしん見守りネットワーク諏訪町ゆっつについての講演フォローアップを兼ねて、1年間の振り返りと来年度の交流会に向けて意見交換

交流会の開催回数・参加人数の合計

	合 計	30回	418人	
--	-----	-----	------	--

(3) 事業の課題・対応の方向

ア 課題

- | | |
|-------------|---------------------|
| ① 見守り方法の検討 | ② 見守りボランティアの担い手について |
| ③ 横断的な連携 | ④ 地域住民同士の交流 |
| ⑤ 地域住民のリーダー | ⑥ 地域住民へのサポート体制 |

イ 対応の方向

- 方向① 具体的な見守り方法を検討する。
- 方向② 事業の継続性を踏まえ、65歳未満の協力員を増やす。
- 方向③ 横断的な連携などに配慮するため個人情報の共有化も視野に入れる。
- 方向④ 地域住民の交流の場として、交流会を活用していく。
- 方向⑤ 見守りボランティアや協力員への対応を行う人材を確保する。
- 方向⑥ 見守り関連事業を改善し、見守り体制の充実を図る。

(4) 平成26年度の取り組みについて

今年度の取り組みとして、全圏域に事業を展開しましたが、見守りボランティアの具体的な見守りまでには至っていない状況です。今後も引き続き、事業の課題や、対応の方向を見据えた事業の推進を図っていきます。